

障害者差別解消法 合理的配慮の提供等事例集の作成について（案）

1 目 的

平成28年度に実施した「障害者差別事例及び合理的配慮の好事例等の調査」結果やこれまでの相談・受付内容を踏まえ、合理的配慮の好事例等を事例集としてまとめ、事業者及び都民の障害者差別解消法への理解を深め、合理的配慮の実践に向けた取り組みを促進する。

2 事例集コンセプト（案）

事業者、都民にとって「合理的配慮の提供」につながる行動をイメージしやすく、実践できる事例集とする。

3 事例集（案）

（1）事例の掲載方法について

●場面別かつストーリー的に掲載

都民にとっては、障害種別を知った上で障害者とかかわることよりも、場面ごとで対応に困ることが多いと思われることから場面別に事例を掲載する。

加えて、ひとつの事例を掘り下げてストーリー的に掲載することで、実践できるという印象を事業者、都民に伝えたい。

（参考）事例集（案）作成にあたって、他の自治体における事例集を掲載方法別に分類し、それぞれメリット・デメリットをまとめた。その中で場面別掲載のメリットとストーリー的掲載のメリットを合わせた掲載方法がコンセプトに最も近いと判断をした。

●分類：メリットとデメリットに分ける

① 場面別（沖縄県・茅ヶ崎市・明石市ほか）

メリット：日常に落とし込みやすくイメージしやすい。

デメリット：自身が体験したことのない場面だとイメージしにくい。

② 障害種別（名古屋市・旭川市ほか）

メリット：特性への理解が深まりやすい。

デメリット：障害への対応が固定化されかねない。多様性が伝わりにくい。

③ ストーリー的（宇部市・茨城県ほか）

メリット：1つの事例が掘り下げられることでイメージが付きやすく具体的な対応がわかる。

デメリット：1つの事例のボリュームが大きいので、たくさんの事例が載せられない。

（2）掲載事例の抽出方法

事例集の掲載事例の抽出方法は、東京都福祉保健局実施の「障害者への差別事例及び
合理的配慮の好事例等の調査」及び内閣府実施の「障害者差別解消法に係る相談事例等
に関する調査」に加え、これまでの相談・受付内容から抽出する。

（3）掲載する場面について

掲載する場面については、事業者や都民がイメージしやすい、生活における場面とする。
具体的な分類については内閣府の合理的配慮等具体例データ集の合理的配慮サーチの
生活場面例の分類を参考に、以下の7つの場面を想定している。

- ① サービス（飲食・娯楽施設等含む）
- ② 医療・福祉
- ③ 公共交通
- ④ 教育
- ⑤ 雇用
- ⑥ 行政機関
- ⑦ 災害時

（4）実際の掲載イメージについて

- ・「事例集の掲載方法イメージ」（3ページ参照）
- ・「教育場面での相談事例（掲載案）」（4ページ参照）

（5）事例集の配布先、今後の作成スケジュール等

- ① 部数：2万部発行を予定
- ② 配布先：事業者（加盟店含む）、公共交通機関、教育機関、当事者、行政機関等
- ③ ページ数：20ページ程度
- ④ 内容（案）：事例集作成の目的、障害者差別解消法について概要（不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供等）を説明の上、15程度の事例について掲載。
- ⑤ 作成スケジュール（案）
 - ・第3回地域協議会（本日）にて、掲載方法、掲載場面について検討。
 - ・事務局案について、各委員にメール等で御意見を頂戴しながら原稿を作成する。
 - ・第4回地域協議会（H29年12月頃）にて原稿案について、提示。
 - ・第5回地域協議会（H30年3月頃）にて完成版を配布。

じれいしゅう けいさいほうほう
事例集の掲載方法イメージ

1 「相談事例」
しょうがいしゃ よ そうだんじれい
障害者から寄せられた相談事例

2 「経過」
そうだんじれい いた けいい
その相談事例に至った経緯

3 「合理的配慮の提供」
ごうりてきはいりょ ていきょう
おこな ごうりてきはいりょ ていきょう
行われた合理的配慮の提供について

4 「ポイント・アドバイス」
じれい よ ほか かんが ごうりてきはいりょ
この事例で良い点、他に考えられる合理的配慮など

1 「相談事例」

ちゅうがくせい しょうがくせい ちちおや ぜんもう がっこう かくしゅ かみ
「中 学 生 と 小 学 生 の 父 親 で 全 盲 で す。 学 校 か ら の 各 種 プ リ ン ト は、 紙 の も の は み る
こ と が で き ま せ ん。 家 族 の 者 に 読 ん で も ら う だ け で は、 時 間 の 都 合 な ど で 読 め な い こ と も
た た しゅたいてき じぶん よ おや とうぜん はいりよ ねが
多 々 あ り ま す し、 主 体 的 に 自 分 で 読 む こ と も、 親 と し て 当 然 の こ と な の で、 配 慮 を お 願 い
し た い で す。

2 「経 過」

そうだんしゃ たんにん せんせい ちょくせつそうだん ぜんもう しかくいがい
相 談 者 は、 担 任 の 先 生 に 直 接 相 談 を し ま し た。 そ こ で、 全 盲 で あ る た め、 視 覚 以 外 で
じょうほう え ひつよう せつめい そうだんしゃ も
情 報 を 得 る 必 要 が あ る こ と を 説 明 し、 相 談 者 が 持 っ て い る パ ソ コ ン に あ る ソ フ ト で
おんせいよ あ しりょう そうふ ていあん たんにん せんせい
音 声 読 み 上 げ が で き る よ う、 資 料 を メ ー ル 送 付 し て ほ し い と 提 案 し ま し た。 担 任 の 先 生
は、 個 別 の 対 応 を し て よ い の か 判 断 し か ね ま し た。 ま た、 学 校 か ら 保 護 者 へ メ ー ル を し
こべつ たいおう はんたん がっこう ほごしゃ
た こ と が な か っ た た め、 校 長 先 生 に 相 談 し、 話 し 合 い の 場 に 参 加 し て も ら う こ と に し
ま し た。
はな あ ば さんかしゃ しかくしょうがいしゃ ほごしゃ たんにん せんせい こうちょうせんせい さんしゃ
< 話 し 合 い の 場 の 参 加 者 : 視 覚 障 害 者 で あ る 保 護 者、 担 任 の 先 生 ・ 校 長 先 生 の 三 者 >

3 「合理的配慮の提供」

こうちょうせんせい ふく はな あ ば がっこう そうだんしゃ たいおう
校 長 先 生 も 含 め た 話 し 合 い の 場 で、 学 校 の ア ド レ ス か ら 相 談 者 へ の メ ー ル で 対 応 で き
かくにん ご がっこう しりょう そうしん しりょう
る こ と を 確 認 し ま し た。 そ の 後、 学 校 か ら の 資 料 は メ ー ル で 送 信 し て い ま す。 資 料 は
もともと さくせい おお と
元 々、 ワ ー ド な ど で 作 成 さ れ た も の が 多 く、 メ ー ル で の や り 取 り が ス ム ー ズ に で き て い
ま す。

4 「ポイント・アドバイス」

しかくしょうがい てんじ かんが げんざい アイディーぎじゅつ こうじょう
「視 覚 障 害 と い え ば 点 字」と 考 え が ち で す が、 現 在 は、 I T 技 術 の 向 上 に よ り、
かんべん ほうほう じょうほうていきょう ばあい しかくしょうがいしゃ てんじ
簡 便 な 方 法 で 情 報 提 供 で き る 場 合 も あ り ま す。 ま た、 視 覚 障 害 者 す べ て が 点 字 を
りよう わけ じゃくし かくだいもじ しかくほじょくとう よ
利 用 し て い る 訳 で は あ り ま せ ん。 弱 視 で あ れ ば、 拡 大 文 字 や 視 覚 補 助 具 等 で 読 む こ と が
ばあい しかくしょうがい こじんさ てきせつ じょうほうほしょう さまざま ひとり
で き る 場 合 も あ る な ど、 視 覚 障 害 で も 個 人 差 が あ り 適 切 な 情 報 保 障 は 様 々 で す。 一 人
あ ほうほう き たいおう ひつよう じれい ほごしゃ
ひ と り に 合 っ た 方 法 を よ く 聞 い て 対 応 す る こ と が 必 要 で す。 ま た、 こ の 事 例 は、 保 護 者 へ
ごうりてきはいりよ ていきょうじれい ほごしゃ ごうりてきはいりよ ていきょう こんご かだい
の 合 理 的 配 慮 の 提 供 事 例 で し た。 保 護 者 へ の 合 理 的 配 慮 の 提 供 は、 今 後 の 課 題 と し
けんとう じれい
て 検 討 し て い き た い 事 例 で す。

